

固定電話網の円滑な 移行の在り方について (EDIへの影響) 【V1.0】

平成28年5月13日
JISA EDIタスクフォース



一般社団法人
情報サービス産業協会

JISA/EDITFとは

■ JISA（情報サービス産業協会）

国内の主要な情報サービス企業で構成する業界団体で、情報サービス産業の基盤整備等を通じ、健全な発展を図るとともに、業界各社の経営や技術の高度化、国際交流、社会全般における情報化の推進等、高度情報化社会の実現をとおして社会に貢献しています。

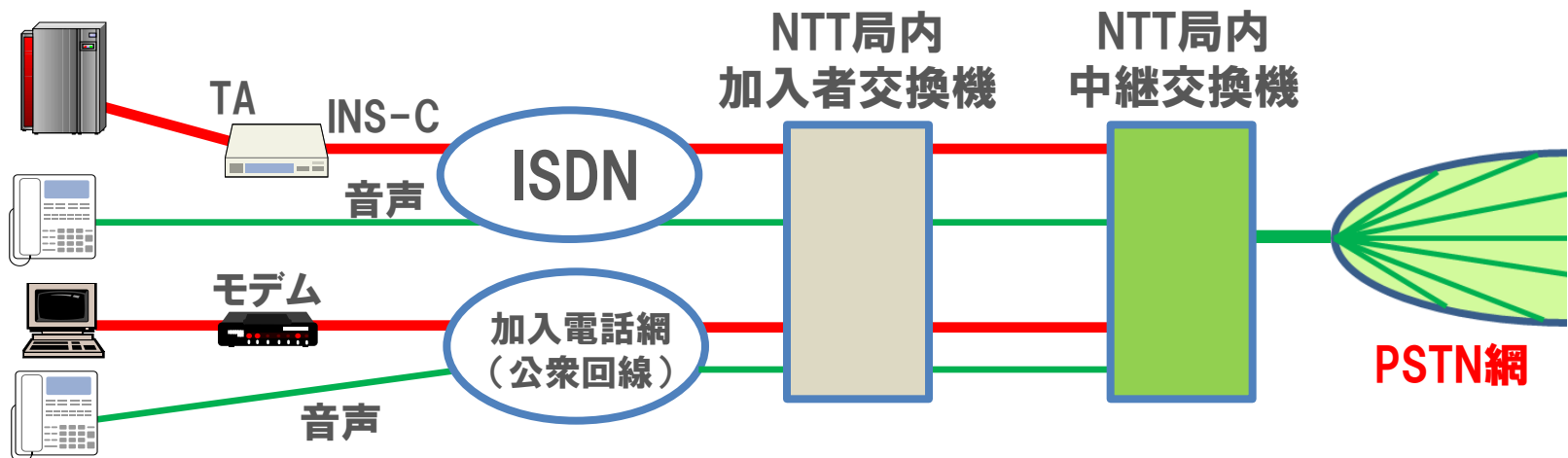
■ EDITF（EDIタスクフォース）

NTT（東日本／西日本）における「INSネット（ISDN）デジタル通信モードの提供終了及びNTT公衆交換電話網のIP化」に伴うEDIへの影響を最小限にとどめるため、NTTならびに関連団体等と連携を図り、対応策の検討と推進に努めています。

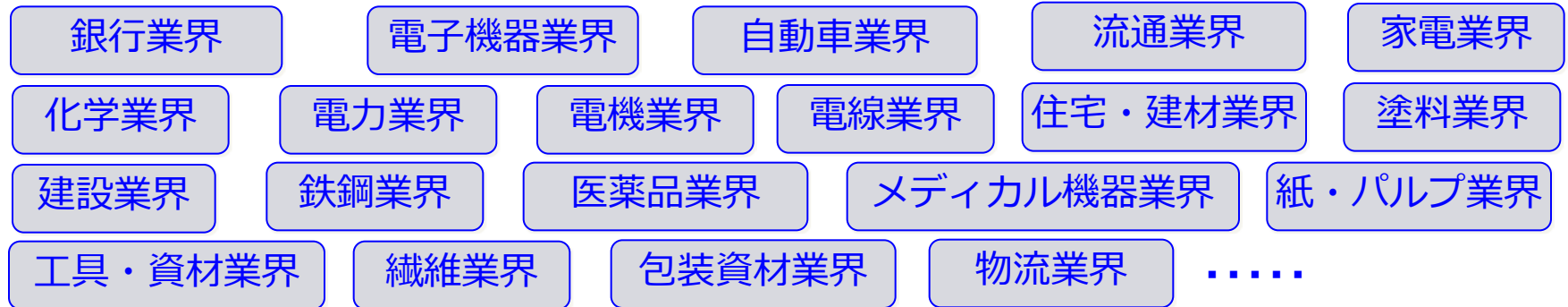
固定電話網の利用シーン

固定電話網は、**音声利用のみならず**、データ伝送に特化したINSネットの「デジタル通信モード」が**企業間の電子データ交換に広く利用**されています。

企業間電子データ交換は一般的に「EDI (Electronic Data Interchange)」と呼ばれており、従来人が手作業で行っていた業務（例：取引先からの注文情報をコンピュータに入力する、など）を**コンピュータを使って自動化することにより、高度な業務合理化**を実現しています。



EDIの活用状況



EDIは幅広い業界／業態において活用されています。

例えば

商流 : 商品の発注や仕入、在庫、支払・請求など

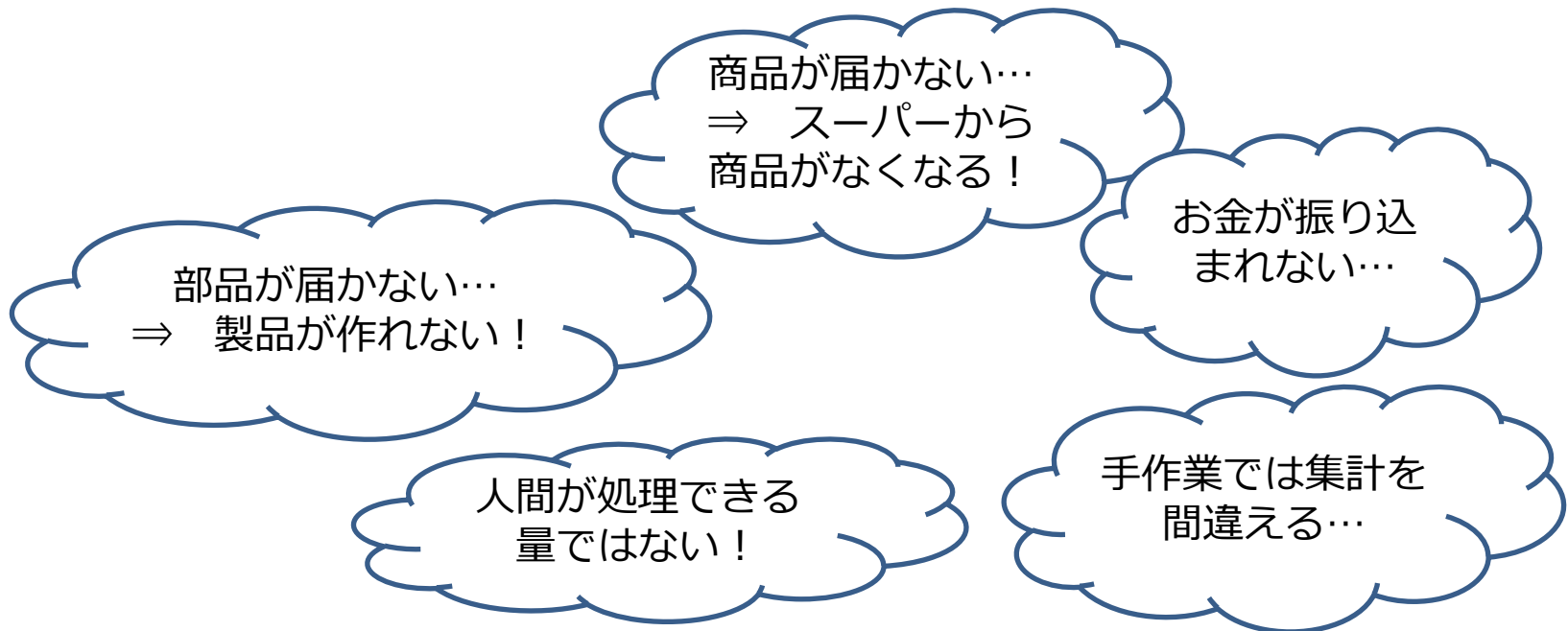
金流 : ファームバンキングの入出金、振り込みなど

物流 : 製商品などの出荷／配送情報など

情報流 : 新製品の発売情報や電子機器からの異常信号情報など
など、様々な領域において日々の業務を支えています。

円滑な移行の必要性

前述の通り、EDIは幅広い領域において活用されています。
 通信回線にインターネットを利用したEDIを行っている業界も一部ありますが、ほとんどの業界ではINSネットの「デジタル通信モード」を利用しています。
 もし、IP網への移行が円滑に進まないとEDIが停止し、結果として日本の**経済活動が遅延、ストップ**することが懸念されます。



まとめ－ 1

- ・ EDIが停止することは、我が国産業界にとって大きな打撃になります。
- ・ IP網への移行は、本来あるべき姿であるため賛成します。
ただし、そのためにはEDIを円滑にIP網へ移行しなくてはなりません。

<課題>

①移行コスト

- ・ 回線変更に伴い、全EDI利用者は相応のシステム投資が必要になります。
- ・ サービス終了時期によっては、企業の投資計画サイクル外の投資を強いられることになります。

②移行作業

- ・ IP網への移行は、全接続先と調整が必要
- ・ IP網への移行には、システムの見直し、開発、テスト、本番移行が必要

③個別に作られたシステムの乱立

- ・ 全体最適を考慮せず自社固有システムによるIP網への移行は、個別システムの乱立を招く恐れがあります。
各業界団体において、より中立的かつ標準的なシステムの採用が重要です。

まとめ-2

<お願いしたいこと>

- ・ サービスの終了、IP化時期の明確化
→ いつまでにすべての作業を終えないといけないか
- ・ EDI利用企業への周知
→ 必要に応じて産官連携による周知活動の実施